

専門科目：マクロ・ミクロ経済学（理論と応用）

つぎのA、B二つの問題群の中から、それぞれ一問を選び、解答しなさい。ただし、選んだ問題の番号も明示すること。

[A群]

[1] 金融政策の効果について次の設問に答えなさい。

- (1) 経済主体が合理的に期待を形成すると、貨幣の中立性という状況が発生すると言われている。貨幣の中立性について説明し、加えて、IS-LMモデルによる図を用いて貨幣の中立性が成り立つ状況を説明しなさい。
- (2) 貨幣の中立性が成り立つ状況であっても、金融政策がある程度の効果を有する場合がある。それはどのようなケースであるかを説明し、加えて、そのケースをIS-LMモデルによる図を用いて説明しなさい。

[2] 金融政策の効果について以下の設問に答えなさい。

- (1) 図を使ってIS-LMモデルから総需要曲線を導出しなさい。
- (2) 緩和的な金融政策が実行された場合、国民所得と物価水準の関係はどのように変化するであろうか。IS-LMモデルと総需要・総供給モデルを用いて説明しなさい。ここで、経済の物価水準は緩やかに変化すると仮定する。

[B群]

[3] (売手)独占市場における企業の行動について以下の各問に答えなさい。

- (1) 企業が2つの市場で異なる価格付けをする「価格差別」の具体例を挙げなさい。
- (2) (1)で挙げた具体例において、2つの市場におけるそれぞれの価格の決め方を経済学的に説明しなさい。なお、2つの市場のいずれについても、需要曲線は右下がりであるとする。また、この企業の限界費用は一定であると仮定しても構わない。説明に際しては、必要に応じて図を用いても良い。

[4] ある個人は今期の所得 $Y_1$ と来期の所得 $Y_2$ を、今期と来期で使い切るとする。また、この個人の効用は今期の消費を $C_1$ 、来期の消費を $C_2$ として、効用関数 $u(C_1, C_2)$ で表される。このとき、以下の各問に答えなさい。

- (1) 利子率 $r$  ( $0 < r < 1$ )で自由に貯蓄と借入ができる場合、この個人の予算制約式はどのように表されるか。
- (2) (1)の条件のもとで、この個人は今期に来期に向けて貯蓄をしたとする。このとき、貯蓄の具体的な水準はどのようにして決まるか、 $C_1$ を横軸、 $C_2$ を縦軸にとったグラフを利用して説明しなさい。
- (3) (2)の状況から利子率が変化した結果、この個人は今期の消費を増やし借り入れを行った。利子率はどのように変化したと考えられるか。(2)と同様のグラフを利用して説明しなさい。